

リレー記事 No.121

## 災害時の備え、家庭の備蓄

近年、全国的に水害や土砂災害が増加し、被害も大きなものになっています。近年の状況を見ると危機感を感じる方も多いのではないのでしょうか。ご家庭でも非常持ち出し袋や家庭での備蓄をしている方も少なくないと思います。ただ、準備だけして安心していませんか？ いざ!の時にすぐに持ち出せるようにしていますか？避難時に使い方がわからなかったり、期限が切れていた!とならないように、グッズの使い方や定期的なチェックのほか、自分に合ったものか確認しておくことが大事ですね。

本当の緊急時に持ち出すものは「命」だけ!

**非常持ち出し袋には、避難場所で1日過ごすためのものを用意しましょう。**

\*携帯用トイレの避難所での使用は女性にとってハードルが高いもの。一度使用してみることをおすすめします。

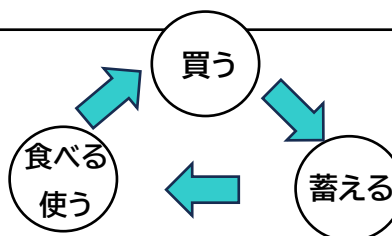
一旦は避難所へ避難しても家がダメージを受けてなければ、在宅避難になることがほとんどです。ライフラインの復旧までに時間がかかる事を想定して、家庭での備蓄をしておきたいですね。

**在宅避難時の備えは最低3日分(できれば1週間分)の準備をしておきましょう。**

- 水……飲料用と調理用で、1人1日3リットルが目安
- 食料……非常食を大量に備えるより、普段食べなれた食材を少し多めに買い、使った分だけ買い足すローリングストックで無理なく備蓄
- カセットコンロ…カセットボンベ1本で約60分使用可能
- トイレ……非常用トイレセット \*ごみに出す時は分かるように表示  
(自宅のトイレに大きめのポリ袋を二重にセットすれば代用可能)

### ローリングストック

消費期限や使用期限などのチェックも忘れずに！年に一度チェックの日を決めておくといいですね。



トイレットペーパーやティッシュペーパーなどもローリングストックで♪

その他、準備しておきたい物

- 乾電池式ラジオやモバイルバッテリー
  - 車で使えるシガーソケット充電器
  - 現金(キャッシュレス決済ができない時のために)
  - 保温アルミシート
  - 懐中電灯やランタン
- 家族構成に合わせて必要な物は違ってくると思います。家庭に合った物を準備しておきましょう。

《 pppppp 》

## 未来を創ろうインタビュー

No.81 古賀郷土史研究会 会長

飯島 勇一郎氏

古賀郷土史研究会は、2002年に設立された任意団体で、「古賀市の歴史、文化を調査研究し、その成果を市民に還元する」ことを目的に活動されています。飯島さんはその4代目の会長さんです。つながりひろばのスタッフとして着任した頃の頃、「古賀の歴史が埋もれているのをどうにかしたい」と熱く語られたことを印象深く記憶しています。

過去を掘りおこす作業を続けてこられた飯島さんに、それが未来にどうつながっていくのかおたずねしたくてインタビューをお願いしました。



Q. 未来のために、今、何が重要だとお考えですか？

A. 歴史は、今、そして未来のまちづくりにつながっている。

自分のまちの歴史を知っている人が少ないことを残念に思う。いろいろな人に知ってほしい。

Q. ご自身が暮らしの中で心がけていることがあればお聞かせください。

A. 自分のまちの歴史を知らない理由の一つは資料が少ないことにある。できるだけ地元の情報を集め、誰でも手にすることができる通信をだしたり、講演会を行っている。

古賀市では、まちの歴史を記した古賀市史編纂も進められているとのこと。それには郷土史研究会のような市井の郷土史研究家集団の地道な情報収集の後押しも欠かせないでしょう。

古賀郷土史研究会では、広く情報を公開するために新しくホームページを作成されたそうです。私たちの住むまちにしかない地理・民族・歴史について知る良い機会です。私たちひとりひとりが、身近な地域の歴史を知ることの延長線上に、未来に向けたまちづくりのヒントが見つかるかもしれません。

《 S 》



古賀郷土史研究会ホームページ

<https://sites.google.com/view/kogalh>

## 再資源化生ごみ（2月）雑がみ（3月）計量のお誘い

エコけんでは、1ヶ月単位で家庭ごとに以下のごみの計量を呼びかけています。

- 10月：可燃ごみ・・・ごみ収集車に出す前のごみ袋の重量
- 2月：再資源化生ごみ・・・再資源化目的に取り分けた生ごみ重量
- 3月：雑紙・・・再資源化目的に分別した雑がみ重量



これまで続けた可燃ごみ計量から、「ごみ減量を心がけている家庭では、比較的楽に地域平均ごみ量(一日一人あたり)の1/3ほどに減らすことができる。」と想定することができました。しかしごみ減量の具体的方法は、家庭によって異なるだろうと推測されます。そのヒントを探すため、雑がみ(2022～)と再資源化生ごみの計量を始めました。

計ることで気づくことがいろいろあります。それを持ち寄っての意見交換会も3月に予定しています。皆さんもぜひ計量にご参加ください。記録用紙をお送りしますのでLINE公式アカウントからお申し込みをお願いします。

《 S 》

## 大人の学びの場「とんてん教室」

今年度、何度も改善を重ねて9月に実施したのが「災害にあう前に備えよう!」です。当日は持ち出し袋を持参で参加していただき、中身の確認や、日頃どんな備えをしているのかなど情報交換をしました。

定例で開催しているのが12月の「しめ縄作り」です。環境についての新しい情報をお伝えしたり、製作工程に少しずつ工夫を重ねています。また、どちらの教室も少人数だからこそ、参加者同士の交流があり大人の学びを楽しまれていました。

今後もとんてん教室は、わいわい楽しく続ける予定です。詳細は、ホームページ、LINEでお知らせします!

《 Y っ ち 》

### 今後の予定

2/16(金)「味噌仕込み体験」

3/15(金)「ハチマを育てて

スポンジを作ろう」

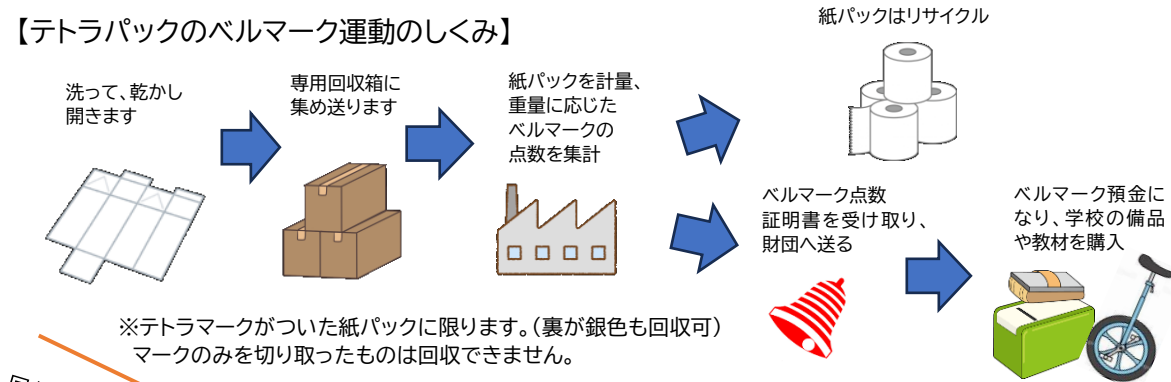


※お申し込み受け付けは、開催日前月の1日(土日祝日を除く)からお電話・LINEにて。

## 「テトラパック」マーク付き紙パック回収始めました!!

これまで分別品として出すことができなかった裏が銀色の豆乳容器やジュース、牛乳などが入っている紙パックにも「テトラパック」マークがついています。このテトラパックがついた紙パックを集めることで、ベルマーク運動に参加することができます。社会貢献活動と同時に、紙容器のリサイクルの推進を図るこの取り組みへのご協力よろしくお願いします。

### 【テトラパックのベルマーク運動のしくみ】



回収にご協力ください!



テトラパックマーク

エコけん事務所、エコロの森再生・展示棟に専用回収ボックスを設置しております。月～金 9:00～17:00 (祝日を除く)の間にお持ちください。ご協力よろしくお願いします。

《 濱 》

## エコけん会員募集!

日頃より活動へのご理解、ご支援をいただき誠にありがとうございます。

会員の皆様には、SNS やエコけんニュースなどを通し、様々な情報を発信しております。

正会員 : 3,000 円/年

賛助会員 : 1 口 1,000 円

\*当該年度会費は、前年度の 3 月 31 日までに納入をお願いします。もちろん、当該年度途中で納入していただいても構いません。

また会費の納入については、振込、現金による手渡しどちらの方法でも構いません。

### 【 振込先 】

ゆうちょ銀行 特定非営利活動法人エコけん

ゆうちょ銀行から

〔記号〕17470 〔番号〕5060781

他金融機関から

〔店番〕748 〔支店名〕748(ナナヨンハチ)

〔種目〕普通 〔口座番号〕0506078



【エコけん LINE 公式アカウント】お友だち登録をお願いします。

月 1 回程度、教室やイベント情報などを配信します!LINE 電話も可能です。

※メールでも情報を受け取ることができます。ecoken@npo-ecoken.sakura.ne.jp